

佐渡米通信

こめへる

2021年 06月号

発行日:2021年6月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 駒形・澁谷・渡辺(清)
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

田植え本格始動!!

令和3年産米の田植えが本格的に始まりました。4月上旬から播種作業が始まり、育苗段階で気温が低い日もあり生育が心配されましたが適切な温度管理を徹底したことで、丈夫な苗に育ちました。田植え後は水管理をしっかりと行い、初期生育促進に努めます。



田植え風景

ご炊こうチャレンジ

JA全農の米消費拡大に向けた取り組みとして「ごはんを炊くことで幸せが多くやってくる/ご炊こう(多幸)チャレンジ!」を企画名に掲げ、進行中です。

コロナ禍において家庭内での食事機会が増えている中、JA佐渡は「いつものごはんがワクワクするような食べ方や食シーン」の提案に取り組んでおります。

JA佐渡公式Facebook「佐渡のたんぼにつき」で提案内容を発信していますのでご覧ください。



梅雨の時期に
ピッタリな梅干しで
トキおにぎり!!

スマート農業の積極的取入れ

JA佐渡ではスマート農業の導入試験を実施しています。特産品「おけさ柿」のスマート農業試験園地では、自動芝刈機の効果を確認するためドローンと赤外線カメラを使った撮影の現地テストを実施しました。今後、定期的に撮影することで、梅雨の時期や夏場など、適切に草刈りが出来ているか分析を行っていきます。



ドローン撮影



画像解析結果

山豊かであれば、田も豊か

4月下旬に「山菜と野草にふれあう会」が開催されました。参加者は講師と営農指導員から山菜と野草の見分け方、使い方や出荷方法などのレクチャーを受けました。山から浸透した水の性質は、麓の植物の群生に影響を与えているとも言われています。今回のレクチャーが開催された山には様々な山菜や野草が自生し、湧き水も豊富でした。この水はいずれたんぼに行きつき、佐渡米の個性を引き出す一助となっています。



講習会の様子



山からの湧水

山から見た
たんぼの景色

